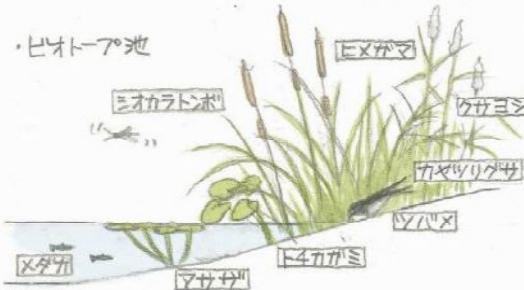


初夏

5.6月

## ・ビオトープ池



- ・雨の日に子がえる放立つこう——庭地の小さな水たまり  
小さな水たまりでも、いざものたちにとってはかけがいのない場所になります。プラスチックの池からは、小さなカエルたちが生まれています。ベランダに置かれた水槽からは、ヨコヅナしたイトトンボが舞い立ちます。秋、街に飛来する赤とんぼのあるさとは、「学校のアーレ」ともいわれています。



- ・梅雨前の蒸し暑い夜に空の高いところから  
テッペンカケタカ・テッペンカケタカというさえずり  
が聞こえてくることがあります。声の主は、遙く行く  
ホトトギス。眼下の灯りに迷惑せず、声が移り、去って  
行きます。
- ・こんな出会いも…  
2008年5月27日午後10時過ぎに、移動しながら  
さえずる声を聞きました(平町1丁目・自然通信員)



- ・モノサシトンボのサンクチュアリ こんな出会いも。  
できるだけ手を入れずにしている庭は、「自然の小宇宙」。  
プランターに水を張った池からは素敵な「モノサシトンボ」が  
生まれます。(上目黒4丁目・自然通信員)



夏間は落ち葉の下に隠れる  
ヒキガエルのこども。

- ・カエルガモの親子 水辺の人気者カエルガモ  
親子。目黒川などで毎年観察されている。



- ・学校ビオトープ ビオトープは「生命のすむ場所」という意味のドイツ語の造語。目黒区の小学校では、いざものたちを呼び戻す活動として、こどもたちが水辺や落ち葉を活用したビオトープ活動に取り組んでいます。

- ・中根小学校の活動 うさぎの運動場跡のコンクリートをはがしてできた「NAKANE BIO 自然とともに生き広場」。カレガモ夫婦も飛来して、校長先生もびっくり! 「増えた水草を食べてくれてありがとうございます」と喜んでいました。



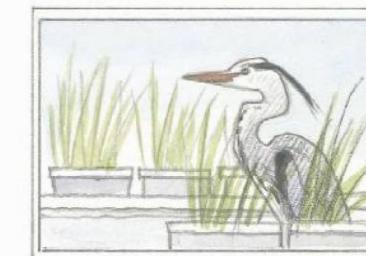
## ・目黒区のトンボ



- ・五本木小学校の活動 校庭の脇の「五本木の森」のあたりには、かつて湧き水のある池があったそう。そんな環境の回復を目指して、井戸の水を引いた「五本木の池」ができた。



## ・こんな出会いも



- ・屋上にできたビオトープ。  
大きな「オオサザ」が舞い降りたところを写真に  
おさめました。(原町小学校)  
オオサザ  
コウトリ目サザ科

- ・駒場の空川では昭和26年頃まで蛍が  
見られた。「夜空の明るい都会では、  
自然発生は難しいのですが、活動は  
未來の夢にならげています」と、蛍の  
住める水辺環境を呼び戻そうと駒場  
野公園で「駒場野ホタルの会」が  
活動中。



June  
6月 \*水無月\*

月の別名▶風待月(かぜまちづき) 涼暮月(すずくれづき) 鳴神月(なるかみつき) 15日の日の出4時25分⇒日の入り18時58分 太陽のいる星座▶ふたご座★5月21日～6月20日★ 芒種▶稲のように芒(のぎ)のある穀物の種まきをするころという意味。農家が田植えに追われます。夏至▶1年で昼間の時間が最も長くなる時期。梅雨に入ります

巣立ちした幼鳥を連れたシジュウカラの家族が鳴き交わしながら庭を訪れるころ。巣立ったすすめのひなは、もう自分でえさをとれるのに、甘えるように親から口移しにえさをもらいます。学校のプールではアキアカネのヤゴがトンボになって、1匹また1匹

と夏をすごす高原へ向かいます。駒場野公園では収穫した梅の実から梅シロップなどを作ります。中目黒公園では、園内に生えるメドハギやヨモギから和紙作りが行われます。絵の具では染められない「地球」色の紙ができあがります

1 目黒川船入場ノウゼンカズラが咲きだすころ



2

3 ミズイロオナガシジミを見ることがあるころ

4 駒場野公園野草園ホタルブクロ咲く

5 世界環境デー 西郷山公園アメリカデイゴ咲くころ

6 このころ芒種

7 ツユクサ咲くころ

8 関東甲信梅雨入り平均日夜間ゴイサギの声を聞く

9 駒場野公園ケルネル田んぼ田植えのころ

10

11 このころ入梅 ナンテン咲くころ

12 モノサシトンボを見るようになるころ

13

14 ツバメひなを育てるころ

15 ザクロ咲くころ

16 ケルネル田んぼにアマガエルおたまじやくし見るころ

17 アキアカネが学校のプールで羽化して飛び立つころ

18

19 アジサイの花見ごろ 那覇サルスベリ開花

20

21 このころ夏至 日黒十五庭(屋上緑化)ネジバナ咲く

22 イヌタデ咲きだすころ

23 このころ夜間最短

24

25 駒場野公園飼育したヘイケボタルが羽化するころ

26

27 コクワガタ灯火に飛来するころ

28 この時期にもハギ咲く

29 梅雨時期のキノコの季節

30



7 July  
7月\*文月\*

月の別名▶女郎花月(おみなえしつき) 七夕月(たなばたつき) 文披月(ふみひらづき) 15日の日の出4時36分⇒日入り18時57分 太陽のいる星座▶かに座★ 6月21日～7月22日★ 小暑▶このころから暑くなるという意味。気温が上がって蒸し暑さが増す。大暑▶最も暑いころという意味。暑さを乗り切るために、土用の丑の日に鰯を食べる習慣

天の川をはさんで織姫、彦星が出会うころ、郊外の田んぼでは平家ボタルが星のまたたきのように光ります。雨が続く季節。木々は力を蓄え、枝葉を茂らせます。梅雨が明けると、セミたちが待ち構えていたように鳴き出します。何年もの間、土の中で木の根

からの養分を吸って成長した幼虫たちは、木々に抜け殻を残して飛び立ちます。ニイニイゼミ、アブラゼミ…どの種類が先に鳴き出ででしょうか。夏休みは自然と触れ合う絶好の季節。身近ないきものたちの暮らしをのぞいて見ましょう



- 1
- 2 このころ半夏生(はんげしょう) ヤブカンゾウ咲く
- 3 ヘクソカズラ咲く
- 4 ヒグラシ鳴き始めるころ
- 5 カルガモのひながかかる
- 6 セリ咲くころ
- 7 このころ小暑 七夕  
ヒキガエルが庭に出現
- 8
- 9 ニイニイゼミ鳴きだすころ
- 10 ホタルガを見るころ
- 11 熊本アブラゼミ初鳴
- 12 ケルネル田んぼキイトン  
ボ見ることがある
- 13 カミキリムシ類見かける  
名古屋アブラゼミ初鳴
- 14 ケルネル水田アジアイト  
ンボ水草の茎に産卵する
- 15 カントウヨメナ咲きだす
- 16 東京サルスベリ開花
- 17 エノコログサ(ねこじゃらし)穂をつける
- 18
- 19 海の日(第3月曜日)  
カブトムシ見るころ
- 20 関東甲信梅雨明け平均日  
ミンミンゼミ鳴きだすころ
- 21
- 22 地面でトウキョウヒメハン  
ミョウ見るころ
- 23 このころ大暑
- 24
- 25 2007年以前の日本の最高気温 40.8度山形(1936年)
- 26
- 27 オニヤンマを見かけるころ  
東京アブラゼミ初鳴
- 28
- 29 ケルネル田んぼ稻の中でオモダカ咲く
- 30 夜間キアシシギが上空を通過するころ
- 31

